

## 9 衝動的な言動が目立つ子どもの手立ての例

### A ルールが理解できないケース

課題となる場面でのルールを覚えておき、その都度評価を入れて教えていく。

ex：順番を待つ等ゲームのルールを守る できた時にほめる。  
学習規律を明確にしできた時にほめる。

ex：発言する時は挙手をし、先生に当てられてから答える。  
出来たらほめる。

### B 行動をコントロールする力が弱いケース

数人のグループで、ルールを徹底して遊びや学習を繰り返し行う中で教えていく。

お互いの姿、自分の姿を振り返らせていく。

子ども同士の関わりの中で気付かせていくことは有効である。

### C 自分の行動に気付かないケース

けがや人命に関わることは第一に配慮する。

譲れない場面では明確に禁止する。

衝動的な言動を少しでもがまんできた時にほめる。